



- 巻頭言『藤が丘病院の伝統』
昭和大学藤が丘病院 形成外科 伊藤 芳憲
- 『病棟災害訓練を開催しました』
- 『新入職員を迎えました』
- 『藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院
ワークショップ開催について』
- 『医療安全週間の取り組みについて』
- 『スプリングコンサートを開催しました』
- 『ボランティア委員会より』
- 『公開講座のお知らせ』

2月18日・19日開催ワークショップにて撮影

巻頭言 『藤が丘病院の伝統』

形成外科 伊藤 芳憲



私は藤が丘病院に26年間勤務し今年定年を迎えましたが、あっという間の26年間でした。

理由はこの病院に魅力があり居心地が良かったことに尽きますが、当院の魅力とその医療風土、あるいは文化と言った方が良いと思いますが、その良き伝統にあると思います。当院は小さいながらも高度な医療に必要な設備と各部門のスペシャリストが揃っていて、各部署間の敷居が低く、一致協力して治療に当たるという風土がありました。またそうすることにより新しい展望が開け、小さいながらも全国または世界に向けて新たな医学情報を発信し続けてきました。それを可能にしたのは、その微妙な規模にあるのか、分院という適度な距離感にあるのか、あるいは創設時の先生の志の高さにあるのか、よく分かりませんが、大学の本格的な分院という存在は藤

が丘病院をもって嚆矢とし、その後、多くの大学が当院をモデルとして分院を建設するようになりました。しかし、医療環境の変化に伴い、当院もモデルチェンジが必要となってきているようです。時代の流れと共に変化することは大事ですが、基本となる精神、良き伝統は継承しなければなりません。

私はこれからも藤が丘病院を見続けていくつもりですが、患者さんや地域の医療関係の方にも是非この病院を見守って、間違った方向に行っていると感じた時にはいろいろな形でご意見いただければと思っています。

良い病院は、それを運営するものやそこに従事するものだけでなく、その病院を利用する人達の協力のもとに作られていくものと信じています。

病棟災害訓練を開催しました

平成 23 年 12 月 20 日（火）病棟災害訓練を開催しました。今回の訓練では、病棟被災を想定した患者非難誘導実施訓練を行い、災害発生時の対応実践能力を向上することを目的とし、病棟スタッフが模擬患者となり、関東地方に震度 6 強の地震が発生したことを想定としました。

●実際に訓練に参加した看護師の感想・・・

今回、災害訓練に参加したことで、患者を安全な場所へ避難させる際には優先順位をつけること、また患者は災害に対して不安を抱く可能性があるため、適宜情報提供を行う必要があると感じた。そのうえ、実際に災害が起こったときにどのように動いたらよいか日頃から意識しておくことが大切だということも実感した。

病棟では、いかに安全に患者を避難させるかが要求される。そのために、的確な指示、状況の報告が重要になってくる。スタッフ一人ひとりがパニックにならず冷静に対応できるよう、避難経路、避難方法の確認や、こういったものが落下、転倒しやすいか病棟内で私たちは日頃から意識しておく必要があるということを今回の災害訓練で学ぶことができ、貴重な経験となった。（5 階南病棟 大場・峯岸・川島・小川・窪木）



新入職員を迎えました

藤が丘病院、リハビリテーション病院では、4 月から看護師 80 名をはじめとする新入職員 128 名と臨床研修医 23 名の計 151 名のフレッシュなスタッフを迎えました。

4 月 2 日（月）に旗の台校舎・上條講堂で行われた入職式の終了後、さっそく当院に場所を移してオリエンテーションを開始しました。真田院長、嶽山院長の挨拶をはじめ医療安全、感染対策から接遇、マナー研修、消防訓練まで 5 日間にわたるプログラムを受講しました。当初は皆さん緊張の面持ちでしたが、研修終了時にはすっかり当院のスタッフとしての自覚に満ちた表情となり、それぞれの部署に配属されました。



藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院ワークショップ開催について

「救急医療の充実を図るために」のテーマのもと、2 月 18・19 日静岡県裾野市にて、ワークショップを開催いたしました。オブザーバーの先生方も含め、約 30 名の方々にご出席いただきました。1 グループ 5 名程の医師・看護師・事務・ソーシャルワーカーで構成された、4 グループに分かれ、討議・発表を行い、病院を見つめる有意義な時間を過ごしました。今後もワーキンググループを立ち上げ活動を継続してまいります。各グループの報告を今後特集として掲載予定です。



医療安全週間の取り組みについて



厚生労働省は、医療安全対策に関し、医療関係者の意識向上、医療機関、関係団体等における組織的取組の促進等を図ることを目的とし、平成13年度から11月25日を含む1週間を『医療安全推進週間』と位置付け、医療安全対策の推進を図っています。

当院では、11月14日～21日まで1階のロビーに医療安全週間の取り組みとして、自身がヒヤリとした体験等を基に全部署から「医療安全いろはカルタ」を募りました。患者様や職員の投票で藤が丘病院5階病棟の『はやまるなあなたの確認 未確認』を最優勝と決定しました。このカルタは1年間医療安全ポスターとして掲示し病院全体で医療の質・安全の向上を目指していきたいと思えます。



最優勝『藤が丘病院5階病棟』



最優勝『リハビリテーション病院手術室』

スプリングコンサートを開催しました。

3月31日、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院にて昭和大学管弦楽団がスプリングコンサートを開催いたしました。クラシック「カノン」弦合奏をはじめ、管弦楽で構成したドラマ「仁」のテーマのオーケストラ演奏他、ドラマ「マルマルモリモリ」管楽器合奏を演奏いたしました。演奏の他、楽器紹介等も行われ、管弦楽に親しむよい機会となりました。今後は、夏にコンサートを開催予定です。

ボランティア委員会より

ボランティア委員会では、病院内でご活動いただける方を随時募集しております。なお、長年にわたり寄贈図書を受け付けておりましたが、6月より寄贈図書をお休みさせていただきます。これまで、ご寄附頂きました皆様には感謝を申し上げますとともに、今後もしばらくはブックサービスを行いますので、ご寄贈頂きました図書を有効に活用させていただきます。

◆ボランティア応募お問い合わせにつきましては、管理課・ボランティア係までお電話いただけますようお願いいたします。(代表：045-971-1151)

公開講座のお知らせ

平成24年6月23日(土) 藤が丘病院にて公開講座を開催いたします

- ◆会場 昭和大学藤が丘病院 C棟臨床講堂
 - ◆日程 平成24年6月23日(土) 午後2時開演 (午後4時半ころ終了予定)
 - ◆演題1 ～正しい知識があなたを守る～糖尿病とは
昭和大学藤が丘病院 内分泌内科 助教 大塚 史子
 - ◆演題2 糖尿病から起こる眼底出血ー糖尿病性網膜症ー
昭和大学藤が丘病院 眼科 助教 早田 光孝
- ご参加、ご希望の方は、下記応募方法にてご応募いただけますようお願い致します。

応募方法

往復はがき・FAX・メール・電話・窓口にて受け付けております。

必要事項をご記入の上、ご応募ください。

- ◆連絡先 『昭和大学藤が丘病院 管理課 公開講座受付係』

《住所》

〒227-8501

神奈川県横浜市藤が丘1丁目30番

《電話・FAX・メール》

TEL: 045-971-1151(代表) FAX: 045-973-1019 メール: f-toiwase@ofc.showa-u.ac.jp

《窓口》

昭和大学藤が丘病院にご来院頂き1階管理課にて承ります。

※電話・窓口におきましては、平日8:30~17:00 土曜8:30~13:00 承りますのでご注意ください。

- ◆必要事項

ご氏名・ご住所・郵便番号・電話番号をご記入の上、ご応募ください。なお、電話・ご来院の方は必要事項をお申し付けください。

【診療統計】2012年2月~3月()内は1日平均

	藤が丘		リハビリ	
	2月	3月	2月	3月
外来患者数	32,408人(1,350.3人)	34,299人(1,319.2人)	5,380人(206.9人)	5,676人(218.3人)
入院患者数	15,140人(522.1人)	16,082人(518.8人)	5,395人(175.3人)	5,530人(178.4)

編集後記

日も長くなり、帰宅時には夏の訪れを実感すると同時にそろそろクールビズの時期であると気づかされます。

今年度においても、当院ではポロシャツを着用し、クールビズを実施予定です。今季も暑い夏となるようですが、職員一丸となって節電に努めてまいります次第です。

皆様には、ご迷惑をおかけするかと思いますが、ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

(豊巻美里)

広報委員

三邊武幸 吉村吾志夫 谷山松雄
池田裕一 田口清 高橋良昌
上ノ宮彰 西山謙一 岩田香苗 吉原利栄
伊藤久美 高橋良治 庄司博 渡邊哲
久保田浩司 豊巻美里 (順不同)